

「今こそ永遠 河井寛次郎 ことづつてふるさと安来への言伝」

今でも多くの市民に愛され、また、影響を与え続けている河井寛次郎。記念事業では、寛次郎と故郷の関わり、そして寛次郎が故郷に伝えたかったことを紹介していきます。今の安来にどんな影響を与え、どのように受け入れられているのかにも焦点をあてています。



寛次郎は、陶芸家を志して東京に進学、京都で就職、そして京都五条坂に居を構えます。しかし、いつも安来を身近に感じていました。昭和12年に自ら設計した自宅は、安来から大工さんを呼び寄せて建築。木材も山佐村産出のものを使用しました。また、寛次郎は生涯を通じて度々、故郷を感じるために帰省

します。その時のこんなエピソードが伝わります。「帰省の度に友人や親せきを訪れ、惜しげもなく自分の作品を置いていった。陶芸家を志したとき、故郷の人々に応援してもらい、温かく送り出してもらった感謝の気持ちなのだ」 今回の記念事業では、メインとなる展示の一つには、市民の



▲辰砂鳩香炉（大正11年頃）個人蔵。今回の展示では故郷ならではのエピソードも紹介されます。

皆さんからお借りした作品を紹介いたします。それぞれにエピソードや思い出があり、その話を通じて寛次郎の人柄や故郷への思いを伺うことができます。このような展示ができるのは生誕地ならではのことで、初期の貴重な作品が多いのも特徴です。

事業ではこの他、寛次郎が歩いた安来の街中でも展開。「ゆかりの地を巡るまちあるき」「高校生による書道パフォーマンス」「ツイズラリー」「手仕事体験、寛次郎に挑戦！」など、様々な催しが開催されます。

没後50年。寛次郎が安来に残した遺産は、将来にわたり受け継がれていくことでしょう。

から寛次郎さんへ 安来の文化を知ってほしい

没後50年となり名誉市民である寛次郎さんに直接、接した人が少なくなってきました。顕彰事業を進めるにあたっては、世代交代の時期であり、次世代にどう伝えていくかという課題があります。今回の実行委員会には、若い方にも入っていただきました。

寛次郎を知れば安来の文化を知ることができると思います。もう一度、安来のまちを見つめ直すきっかけになればと、記念事業の準備を進めています。



河井寛次郎没後50周年記念事業実行委員会 会長 野白千晴さん

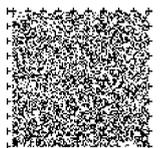


故郷から贈られた丸石に手を置く寛次郎（京都の自宅の庭）

河井寛次郎略歴

明治23年に安来町で生誕。陶工を志して上京し、東京高等工業学校を卒業後、京都市陶磁器試験場で釉薬を研究、制作に励む。大正9年には京都五条坂に住居と窯を構える。辰砂など色を巧みに表現し、釉薬の河井と称された。高度な作陶の知識と技術、そして独自の造形により生み出された作品は、国内外で高い評価を得た。

昭和41年11月18日永眠。平成26年に安来市名誉市民に選定。





関連イベントの紹介 10月29日(土)~12月4日(日) 問い合わせ 文化課 (電話 23-3240)

河井寛次郎作品展

ふるさと安来に伝わる、寛次郎の初期から晩年に至る技と作品を展示。親交のあった家に伝わる作品を、関わりがあった場所や人のエピソードにも触れながら紹介。ふるさとならではの企画です。生涯安来を愛し、安来の人々と交わり、今もその影響が受け継がれていることを感じていただけます。

[期間] 10月29日(土)~
12月4日(日) 火曜休館
9:00 ~ 16:30
※10月29日は10時開館

[場所] 安来市加納美術館
[料金] 一般1,000円、学生500円、中学生以下無料



ギャラリートーク (作品解説会)
展示会場で、学芸員による作品解説です。

[期日] 11月6日(日)、27日(日)
[場所] 安来市加納美術館

特別茶会

鷺珠江氏 (河井寛次郎記念館学芸員) のお点前で、寛次郎作の茶碗を使ってお茶をいただきながら、作品や人柄などについての話を聞きます。

[期日] ① 10月29日(土) 10:30~12:00
② // 14:00~15:30
③ 10月30日(日) 10:00~11:30

[会場] 安来市加納美術館 (電話 36-0880)
[参加費] 2,000円、定員10人、10月1日以降に要予約

安来の現代作家工芸展



イメージ写真

安来の現代作家による手仕事、民藝、工芸展。寛次郎は金工の金田勝造や安来織の遠藤小間野、木工の野白国雄など安来の作家たちと親しく交流、指導。その系譜を継ぐ作家たちの作品を展示します。今も盛んな安来の手仕事に親しんでいただけます。入場無料。

[期間] 10月29日(土)~12月4日(日)
※ただし、11月1・8・15・20・22・29日は休館
[会場] 観光交流プラザ 2階ギャラリー

命日記念行事「今こそ永遠 河井寛次郎

~ふるさと安来への言伝 (ことづて) ~

河井家の元菩提寺での法要 (13時30分~) 後、講演会や朗読会、寺宝展を開催。参加は無料。

[期日] 11月12日(土) 13:30~16:00

[会場] 松源寺 (安来町)

①記念講演 14:00~15:00

講師 河井敏孝氏ほか

内容 寛次郎の人柄、作風、安来 寺内の顕彰碑
とのご縁などをお話しいたします。

②朗読会 15:10~16:00

女性グループが生演奏の中、寛次郎がふるさとを舞台に描いた著書『六十年前の今』などを朗読。

③寺宝展 松源寺に伝わる寛次郎や河井一門などの作品を特別公開。



寺内の顕彰碑

現地探訪「寛次郎ゆかりの地を歩く」

地元ガイドの案内による寛次郎ゆかりの地のまちあるき。非公開場所も含めて寛次郎の足跡を訪ね歩きます。要予約。定員20名程度。参加料は昼食込みで1000円程度。※申し込み

[期日] ①11月3日 (木・祝)

②11月20日(日)

[講師] 松本秀作氏 (観光ボランティアガイドの会)



町に残るゆかりの地

安来高校生による書道パフォーマンス

安来高校生が寛次郎の言葉から学んだ成果を生かし、寛次郎の言葉を大書きます。

[期日] 11月13日(日) 14:00 ~

[場所] 寛の蔵 (旧天界酒造・安来町)

[その他] 手仕事の店「手仕事に魅せられて」も開催します



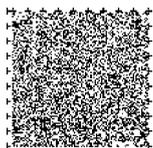
寛次郎に挑戦!

市在住の作家の指導による手仕事の体験と販売。陶芸以外にも書や木工、金工など幅広く手掛けた寛次郎にちなみ、陶芸、木工、染織、組子などの体験を通して、手仕事の技や魅力に触れ、手仕事の町安来に親しんでいただけます。参加は有料。※申し込み

[期日] 11月13日(日) [会場] 安来町大市場周辺

クイズラリー

安来のまちを巡りながら、生家跡、原本邸など寛次郎ゆかりの地に設置されたクイズに挑戦し、寛次郎の足跡や安来の歴史を学びます。期間中は自由に参加できます。参加者には特典も。[期日] 10月29日(土)~12月4日(日) [会場] 安来町各所



※申し込みは後日、配布するチラシをご覧ください。